

令和5年度 児童発達支援・放課後等デイサービス ガイドラインに基づく自己評価結果

台東区松が谷福祉会館 こども療育室
令和6年1月公表

台東区松が谷福祉会館こども療育室では、区内在住のお子さんに提供している「児童発達支援」及び「放課後等デイサービス」の支援の質の向上・支援内容の適正化に向けて、ガイドラインに基づく自己評価を実施しました。下記のとおり、結果を公表いたします。

●実施期間	令和5年 12月
●回収率	児童発達支援 88.1% (119/135人) 放課後等デイサービス 100.0% (5/5人) 職員 100.0% (35/35人)

項目(骨子)	保護者・職員アンケートからの考察	こども療育室からのコメント・改善目標、工夫点など
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・定員、スペース、職員配置等は基準を満たしているが、より良い環境が求められている。 ・清掃や安全点検に努めているが、建物の老朽に伴う設備の使いにくさや心配が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のためグループの人数を見直したことにより、ゆとりのある空間で安全に活動を進めることができました。今後も、グループの特性に応じて適切な配置となるよう、職種のバランスや人数等を考慮していきたいと思えます。 ・建物の経年劣化に伴う構造上の課題があることは認識しています。ご意見を参考に、危険箇所の補修等の対策を講じていきます。また、今後も設備や環境の整備、日々の清掃などを通して清潔で明るい雰囲気づくりを心掛け、安心して通所していただけるよう努めていきます。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・実施しているものの、保護者への周知が行き渡る工夫が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せや職場内研修、自己評価(平成30年度より実施)、第三者評価(平成28年度、令和4年度実施)を通して業務改善に繋がっています。また、より良い支援を検討するための会議(外部講師含む)や外部研修への計画的な参加により、職員の更なるスキルアップを図っています。昨年度から、全職員が集合した職場内研修を再開し活発な意見交換を行っています。 ・平成30年度より、自己評価結果を区のホームページで公表しています。タイムリーに閲覧して頂けるよう掲示板に二次元バーコード等を掲載するなど、周知に努めます。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に基づく活動プログラムの設定や工夫について、一定の評価を頂いた。一方で、一部の支援について不足と感じるご意見もあり検討課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理や言語・運動面の標準化された各検査により全体の発達状況を把握したうえで、児童発達支援管理責任者を含む多職種によりガイドラインに基づく支援計画の作成及び活動プログラムの決定を行っています。また、支援前後の綿密な打合せやケース会議、相談事業所との連携によるモニタリング等、様々な機会を通し総合的な判断のもと支援計画やプログラムの見直しを行っています。今後も、保護者の希望や願いをお聞きしながら、一人ひとりのお子さんに合わせた支援計画の設定や工夫された活動プログラムを提供していきます。 ・ご希望を多く頂いた支援(OT)については、適切な評価のうえ必要な回数を提供できるよう枠組みの調整を行う予定です。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援プログラムの提供に関して約2割の方が回答に迷われたり、提供の仕方や回数に不足を感じるご意見を頂いた。 ・保護者同士の連携の設問で回答を迷われた保護者が約5割いた。頻度や時間について、具体的なご意見を頂くことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立・私立問わず保育園、こども園、幼稚園等との連携を積極的に進め、地域全体の子育て支援力の向上に努めています。今後も、保護者の希望をお聞きしながら同意のもとで連携を進めていきます。 ・家庭支援プログラムは全体会を再開し多くの方にご参加を頂き、関心の高さを改めて感じました。欠席者には議事録を配付する等の工夫に努めました。特に心配が多い就学に関しては、情報提供の仕方について引き続き検討していきます。 ・保護者同士の連携について、機会を増やしてほしい等の前向きなご意見を頂きました。交流を通して、悩みを共有や子育てに役立つ情報交換等ができるよう今後の検討に繋がっていきます。
保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談や育児相談に関して約9割の方に満足いただいた。 ・情報発信に関する項目で、回答を迷われた保護者が2~3割ほどおり、発信や周知の仕方に工夫が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者と専門職が連携して対応しています。お子さんの発達状況に関する相談のほか、家庭のことや様々な悩み、心配事を軽減できるよう今後も丁寧な支援に努めていきます。 ・年間予定表を配付して家庭支援プログラムの見通しがたつようにしたり、掲示板を整理しましたが、必要な情報が必要な方に届くように、改めてカテゴリーを整理する等各種情報の発信の仕方を工夫し、掲示や配付、口頭でのアナウンス等を組み合わせて周知していきます。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルや避難訓練についての設問で回答を迷われた保護者が約2割いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定して職員に周知徹底しているほか、必要に応じてピンポイントで情報掲示を行っています。 ・保護者を行う避難訓練は避難経路確認のみですが、職員は会館の消防計画等に基づく年3回の避難訓練を実施しています。会館全体で実施した際には、訓練の様子を共有させて頂きます。
安心・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の保護者に、通所を楽しみにしている、支援に満足していると回答を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多数の方に満足頂いている一方で、プログラムの頻度について不足と感じるご意見が複数あり、療育に対する期待として受け止めています。多くのお子さんに行き届く支援を検討した体制であることをご理解いただけますようお願いいたします。今後も、限られたなかで、より質の高い支援が提供できるよう創意工夫を積み重ねていきます。 ・ご意見・ご要望の全てに応じるのは難しいですが、今後も一人ひとりのお子さんご家族に合わせた支援を心掛け、少しでも満足に近づけるよう努めていきます。